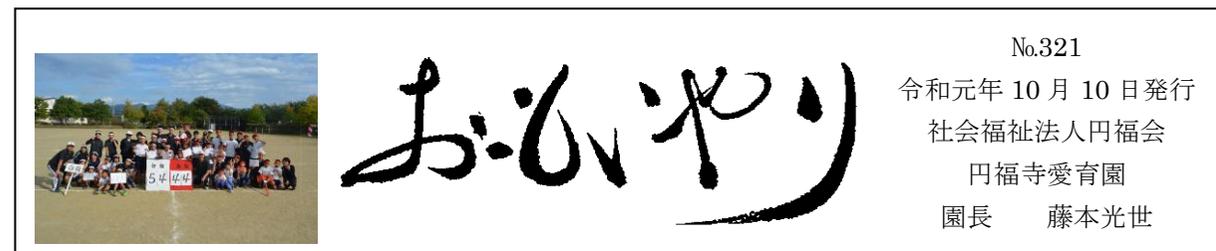


土にまみれても、転んでも、力を合わせ戦い抜いた運動会でした！次は愛育園祭！！



オンリーワンの運動会

園長 藤本光世

9月29日に塩崎の山崎公園グラウンドで、第4回愛育園運動会を盛大に開催しました。おいでくださったご来賓の渡邊理事様、通明小学校芳原校長先生、篠ノ井東中学校山森校長先生、瀧澤西横田区長さん他、円福会の役員の方々の皆さま、学校の先生方、誠にありがとうございました。

長野県児童福祉施設連盟東北信支部では、昭和40年ころからこの時期に東北信地区の8つの児童養護施設が一堂に会して運動会を開催していました。ところが平成24年に始まった家庭的養護の推進により、各施設は次第に集団の力を利用して子どもを育てることに力を入れなくなってきました。

以前は各施設が夏休みころから全力で取り組んでいた運動会も、その場限りの、おちゃらかしの参加と思える施設が出てきました。また、児童全員が参加しない施設がありました。

当園は、どんなことにも全力でとりくもうを合言葉に、夏休みのお盆明けから、全員がマラソン練習に参加し、百足競争の練習をし、リズム体操にも力を入れて準備して運動会に臨みました。その成果が表れて、マラソンでは入賞者の半数を愛育園の児童が占めてしまうようになりました。百足競争（百足リレー）もチューブを見てスタートの方法や手の位置（腰にひもを巻いてそれを持つ）を工夫し練習しました。優勝しましたよ。

平成28年に円福寺愛育園は長野県児童福祉施設連盟を脱退しました。時期を同じくして連盟主催の運動会が無くなったと聞きました。毎年7月に開催していた連盟主催の球技大会も無くなりました。愛育園は子どもたちに全力で取り組ませていた行事をなくすことはできません。それで、連盟主催の運動会を当園だけの運動会に引き継ぎました。そして、球技大会は当園主催の円福杯球技大会として受け継がれています。

今年の運動会の種目を見て、当園が独自に入れた応援合戦などの種目と共に、連盟主催の運動会の種目がここに生きていたと思いました。連盟の関係者や運動会を応援していた白樺ライオンズクラブのみなさまが見れば驚くでしょうね。

(令和元年10月10日発行 月刊「円福」469号付録)

日本中に、全職員と高校生から年少児が一堂に会して競技する運動会があるでしょうか。その意味で、当園の運動会は園歌のようにオンリーワンの運動会だと思います。

運動会が終わった時、全員が同じく発した言葉が『楽しかったー』でした。

準備体操、かけっこ・短距離走、玉入れ、リズム体操、大玉送りリレー、パン食い競争、応援合戦、マラソン、綱引き、みんなで渡ろう栄光の架橋、竹引き合戦、むかで競争、紅白リレー、オールスターリレー、整理体操

15の種目にほとんどの児童も職員も出場しっぱなしです。とっても疲れたでしょうね。しかもこの日は曇り時々雨の予報が覆って、晴れてとっても暑かったのです。熱中症予防に何度も水分補給をしました。

こんなに疲れても、体中が痛くなっても全員がとっても楽しかったーと言ってくれるなんて、運動会っていいなあと思いました。実は、昨年、一昨年と運動会を開催できなかったのです。その分、児童の生活意識は低下し、問題行動が起きるようになっていました。私は、理事長として離れてそれを見て、肌で感じていました。運動会をやって、本当に良かったです。

全力で準備してくれた先生方、立派な応援合戦の発表に練習を積み重ねてくれた先生方と子どもたち、おいしい食事を作って来て当日は一緒に走ってくれた調理の先生方、ありがとうございました。愛育園全員で創りあげた運動会が出来ました。

次は11月4日の愛育園祭です。

皆さまのご来場をお待ち申し上げます。

第4回愛育園大運動会

主任保育士 石崎早織

9月29日に3年ぶりの愛育園大運動会が行われました。当日の天気が心配でしたが、運動会にふさわしいほどの快晴になり、青空の下運動会を行うことができました。

運動会を行うのは3年ぶりだったので、どこから準備を進めていくか、又運動会行事に参加したことのある職員の方が少なく少し不安もありましたが、一つ一つ準備を進めていく中で職員も運動会のイメージが少しずつ湧いていき、当日を迎えることができました。



子どもたちは運動会行事をやると聞いた時から楽しみにしてくれており、学校で疲れている中でも一生懸命練習に励んでいました。愛育園大運動会の一番のメインは応援合戦です。小学生、中高生に分かれそれぞれが出し物をします。今年小学生は「組体操」中高生は「形」を披露しました。この練習がどの競技の中でも一番大変で、毎回本番に間に合うのか心配になりますが、でも一番見ごたえのある競技でもあるため、2週間前からほぼ

毎日に練習に取り組んできました。私は両方の練習に参加してきました。まず小学生の組体操では最初倒立ができない、ピラミッドも力のバランスもあり不安定になる、笛の音で方向を変えるのもバラバラという状態でしたが、毎日やっていくことで、倒立ができなかった子ができるようになったこと、ピラミッドも土台になっている子が上の子を支えようと必死に歯を食いしばり頑張る姿、職員の笛の音を聞き逃さないように集中する姿勢に子どもたちの成長を感じ、本番では今までにならぬほど一つ一つの技がきれいに決まり、また子どもたちの堂々とした姿に感動しました。中高生の「形」は難易度も高く、まず覚えるのに必死でした。細かい動きも多く、何度も何度も確認をしながらみんなで覚えていきました。また中高生は部活、バイト、塾など忙しいことも多く、全員揃った練習ができず本番を迎えてしまいましたが、本番では堂々と発表することができとてもよかったです。またその他の競技では同じチーム同士で声を掛け合い、中高生が小学生を引っ張ってくれる頼もしい姿もあり、小学生も楽しく運動会行事に参加することができました。結果白チームが総合優勝しましたが、赤チームも負けなくらいみんなで心をつにし、頑張れたのでよかったです。子どもたちのやり切った！という表情が見れ、本当によい行事になりました。また運動会行事が大成功に終わったのも、準備や練習を子どもたちに負けなくらい頑張ってくれた先生方のおかげです！本当にありがとうございました！！

『第4回愛育園大運動会』

まごころホーム 竹内早季

先日、2年ぶりの愛育園大運動会が開催されました。今回、私は幼児・小学生のリズム体操と中高生の応援合戦担当になりました。リズムではパブリカのダンス、応援合戦では某高校の演舞から抜粋したものを行いました。私自身、ダンスがかなり苦手な担当になった時は不安でいっぱい、はじめの頃は弱音ばかり吐いていました。毎日、園でも自宅でも動画を見ながら練習をし、不安なまま子どもたちとの練習期間に入り、初日の練習では自分ばかりが焦ってしまい、うまく指示が出せず、全体を戸惑わせる結果になってしまいました。ただ、その日以降、もう一度先生方と話し合い、練習内容を考え、職員練習も行い他の先生方にもたくさん協力していただいて、少しずつ流れ

を掴めるようになっていきました。1週間経った頃に少しずつ子ども達も振り付けを覚えてきて、「できた！」と嬉しそうにしている姿や、練習時間以外にも「先生、今日も自主練する？」と積極的に言いに来てくれる姿があり、私が弱気になっていたらいけないな、と思い直し、最後まで頑張ることができました。リズム体操も応援合戦も初めての担当で、子どもたちに楽しさと達成感を味わってもらうにはどうしたらいいのか考えるのが本当に難しく、同時に最後まで一緒にやり遂げることができた喜びが感じられるいい経験になりました。また、他の競技でも全力で走って勝ったら大喜びする姿、負けて泣きそうなくらい悔しそう姿などいつも以上に感情豊かなところも見られて良かったです。手を抜かない子どもたちにこれからも負けなように頑張ろうと思いました。

第4回愛育園大運動会

あおぞらホーム 金井雄大

9月29日、今回で4回目となる、愛育園大運動会がありました。天気予報では、雨の予報でしたが、当日は晴れ、暑いくらいの日差しの中運動会を行うことができました。

特に印象に残っているのは、応援合戦やオールスターリレー、そして竹引きです。応援合戦は、なかなか振り付けを覚えられず、わからないところは職員同士で教えあい、夜の子どもの練習時間以外のところでも、職員も時間を見つけて練習しました。本番では、少し振りを忘れてしまうこともありましたが、子どもたちと楽しんで行うことができました。

オールスターリレーでは、赤・白両方の職員と子どもが全員参加して走りました。走る順番もごちゃ混ぜなので、小学生と中高生と一緒に走っていて、どちらが勝つか最後までわかりませんでした。子どもたちも頑張っていました、職員も本気を出して走っていました。

竹引きは、まず準備の段階で、あおぞらの中高生と小学6年生で竹を切りに行き、その後、竹にテープを巻いたり、出っ張っているところを削ったりと、子どもたちが協力して準備をしてくれました。競技中は、お互い必死に竹を取り合い、1人で数人と竹を切って取り合っている子や、負けそうなところに走っていく子どもの姿が見えました。転んだり、引きずられたりして、かすり傷をつけた子もいましたが、みんな全力で競っていて良かったと思います。

運動会は、準備こそ大変でしたが、当日は子どもも種目の準備など手伝ってくれて、とてもスムーズにプログラムが進みました。職員の自分も、子どもたちと一緒に運動会を楽しむことができて良かったです。



第4回愛育園大運動会

あおぞらホーム 近藤誠志郎

秋になり、愛育園での一大行事でもあります『運動会』の季節がやってきました。3年前まで毎年運動会を開催していましたが、直近の2年間は運動会を行っておらず、今年は久しぶりの運動会の開催となりました。私も愛育園で勤めさせて3年目なので、運動会は初めての行事となります。愛育園のホームページで過去の運動会の映像があるので、それを見て想像はしていましたが、実際にやるのとではわけが違いました。運動会で目玉となるのが、小学生と中学生・高校生・職員の2つに分かれての応援合戦です。私は小学生の応援合戦の担当を任せていただきました。小学生は応援合戦で組体操を披露することにしました。練習を運動会当日の約2週間前から始めました。小学生は男の子が6年生3人、4年生1人、3年生1人、2年生1人で、女の子が6年生2人、5年生2人の合計10人です。6年生の子たちは春に行われた学校での運動会で組体操をしており、経験がありますが、他の子たちは経験がなく、初めてすることばかりで大変でした。まず、子どもたちが苦労したのが倒立です。初めて練習をした時に半分ほどしかできず、毎日のように練習を重ねました。特に、3年生のS君、2年生のT君がうまくできなかつたのですが、さすがは上達の早い子どもたちです。練習を重ねて1週間ほどたったころにはきれいに倒立ができるようになっていました。毎日一生懸命に練習していたのを感じました。3人技のタワーでは、5年生の女の子が初めは上に立つことが怖くて腰が引けていましたが、練習を重ねるうちに勇気を出して立つことができるようになりました。組体操の最後の技に考えたのが、10人全員による、4段のピラミッドです。始めたころはみんなの息があわずに失敗してしまうことばかりでした。配置を変えたり、乗り方を工夫して、みんなで協力しあうようになり、きれいなピラミッドを作ることができるようになりました。迎えた運動会当日、子どもたちの中には応援合戦前、少し緊張している様子もありました。しかし、演技が始まると、その緊張もいい方向に働き、みんなとっても真剣な表情で素晴らしい組体操をどん



どん披露していきます。10人全員で取り組む人間起こしも練習以上の出来でした。そして最後の4段ピラミッド。私は見えてハラハラドキドキしておりましたが、力強いピラミッドとなり、小学生の応援合戦は最高の形で締めくくることができました。みんなの努力は本当にすごいものだと感じました。中高生、職員による応援合戦の演舞もみんなで息を合わせることができ、練習以上のもの

のが披露できたと感じます。

応援合戦以外のところでも運動会は大盛り上がりです。玉入れでは子供も大人も必死になって玉を投げ、綱引きでは掛け声を合わせて引き合いました。ムカデ競争では子ども、職員が何度も転びながらも協力をしてゴールを目指しました。昼食前に行われたマラソンでは、暑さの中2.5kmを走ります。みんな全力を出しきっての走りとなりましたが、優勝は最上級生としてさすがの走りを見せてくれた高校3年生のR君でした。運動会種目の中で一番の盛り上がりは紅白リレーでした。それぞれのチームから選抜されたメンバーでの対決となり、勝負はアンカーにバトンが渡るまで白組がリードしていました。しかし、赤組のアンカー中学3年生のK君がものすごい走りで白組を抜き去り、大逆転での赤組勝利となりました。最終種目のオールスターリレー(全員でのリレー対決)では幼児から大人まで一生懸命にバトンを繋ぎ、赤組白組の一步も譲らない、抜き抜かれつの勝負となりましたが、結果は白組の勝ちで全競技が終了。総合結果は白組の優勝となりました。9月末とは思えない30度近い暑さとなりましたが、そんな暑さも吹き飛ばす大成功の運動会となりました。準備、後片付けもみんなでするとあっという間で、愛育園の良いところが随所にでた一日となりました。本当に素晴らしい一日でした。最後になりましたが、運動会に参加していただいた関係者の皆様、小学校・中学校の校長先生を含む各学校の先生方、子どもたちに声援を送っていただきありがとうございました。

愛育園運動会 あおぞら児童感想

今日、運動会がありました。僕は白組でした。白組の中でも、キャプテンでした。

短距離走では、3位でした。玉入れでは、あまり入れることができず、負けてしまいました。パン食い競争では勝てませんでした。マラソンは、全体で3位でした。よかったです。綱引きも勝てました。応援合戦は、1回間違えたけど、しっかりできてよかったです。リレーは、兄ちゃんとだったけど、少しリードしていたので、抜かされずにバトンを渡すことができました。しかし、負けてしまいました。オールスターリレーでは、かてたのでよかったです。

結果は、白組が優勝しました。勝ててよかったです。

(N・M中3)

愛育園運動会 まごころ児童感想

今日は運動会がありました。まず最初に短きよりそうをしました。私は、1位でとてもうれしかったし、いっしょうけんめい走れたので良かったです。私が、運動会の中で思い出にのこっているのは組たいそうです。組たいそうの中で、特にきれいにできたのは、サボテンととうりつです。サボテンでは、私は上に乗りました。うまくできて良かったです。とうりつでは、今までできなかった

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ことができたし、「足がまっすぐにのびたよ。」と言われて良かったし、うれしかったです。あと、むかできょうそをやりました。最初は、むずかしいし、自信が持てなくてこわがっていたけど、練習していくうちになれてきたので良かったし、本番は紅組が勝てたのでとてもうれしかったです。短きよりそうも、パン食いきょうそうも1位になれたので、本当にうれしかったです。楽しい1日でした。

(T・Y 小5)

今日は、3年ぶりの愛育園大運動会がありました。準備も練習も全てがんばってやってきたということもあり、とてもきんちょうしていました。私は運動会が出る種目が多かったのですが、しっかりやることができました。開会式の前の入場行進で、白組が勝てて良かったです。私が1番心に残っている種目は、中高生の応援合戦です。私は中学生になって初めてのことでした。間違えずにできました。他にも、紅白リレーやオールスターリレーなどありましたが、どれも良い思い出です。閉会式では、優秀賞をもらいました。とてもうれしかったです。また来年も楽しみです。

(M・M 中1)

9月29日に4回目となる愛育園運動会が行われました。今年は紅組でした。マラソンは、運動会に向け、4週間前から練習し始めました。始めたばかりの時は久しぶりで、思うように良い記録が出せず悔しかったのですが、練習していくうちに自己ベストが出て、とても嬉しかったです。あまり多く練習は出来ませんでした。最高タイムは12分53秒です。そして、本番ではとても緊張しましたが、頑張って走り、女子中高生の部で1位を取ることが出来ました。とても嬉しかったです。その他にも、竹引きや大玉送り、玉入れなど、新しくやる種目もありました。私が1番心に残っているのは、中高生の応援合戦です。中高生の応援合戦は、スピードが速く、とても難しいダンスでした。2週間前くらいから練習しましたが、毎日毎日大変でした。分からない所やできない所を確認し合いながらやっていきました。本番では、上手に踊ることが出来なかったけど、練習の成果を出せて良かったです。お客さんからアンコールが来た時は嬉しく思いました。みんなで協力してできて良かったです。結果は55対44で負けてしまいましたが、楽しかったので良かったです。来年もまたマラソンで1位を取れるように練習から頑張りたいです。

(Y・O 高2)

ステーキ昼食会

あおぞらホーム 山田忍

9月の3連休、真ん中の22日にステーキ昼食会を行いました。

月末に運動会があり職員も子ども達も連休は準備や練習で大忙しでしたがその労をねぎらい、また、

(令和元年10月10日発行 月刊「円福」469号付録)

運動会に向けて力が付いたのではないかと思います。予報では連休は雨模様との事で心配しましたが天気ももちました、朝から中高生たちがテーブルやコンロの準備を積極的にやってくれましたし、毎年のキャンプで鍛えた火起こしもみんなとても上手であったという間に良い炭火がおきました。

ステーキはとても大きく食べ応えがあり、さらに石龍先生から地元の牛タンまで頂きみんな大満足だったと思います。



少年野球 円福杯

あおぞらホーム 倉島誠

9月7日に第4回円福杯球技大会が行われました。晴天にも恵まれ、多くの方のご協力、参加して下さるチームの皆さんのおかげもあり、無事開催することが出来ました。

当園のチームは現在、六年生4人、五年生2人、四年生1人、三年生1人、二年生1人の合計9人の園の子と、外部から参加して下さる四年生2人、三年生2人が加わった計13人で活動しています。

昨年に比べ、練習内容は日に日に密度の濃いものになっていきましたが、その中でも練習態度であったり、返事、挨拶、礼儀がなくなっていき、技術は上達しても、選手たちの態度は良いものとは言えませんでした。そして、ある大会に出場した際に、試合中声は出さない、審判の判定に文句を言う、最後の整列にダラダラと並ぶなどとてもスポーツマンシップのある行動とは思えない試合がありました。その試合の後、やる気が無いのならチームを解散しても構わないこと、辞めれば良いこと子ども達と話し合いました。何日も話し合いを重ね、子どもたちの練習、試合に対する気持ちの変化を促しました。時には、土手から挨拶の練習をさせ、声が出ていない子は何度でもやり直させました。たくさんの子が泣きながら「このチームで野球をしたい、野球を続けさせてください」とお願いにきました。私自身、もう解散でも良いかなと正直思っていました。子ども達“本気”を信じてみることにしました。その中で一番変わったのがキャプテンのY君です。Y君はキャプテンとして、最高学年として、声やプレーでチームをまとめていきました。そして臨んだ円福杯、結果は見事優勝することが出来ました。Y君は二試合



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

を一人で投げ抜き、他の子も声を絶やさず、一生懸命にプレーをしていました。たくさんの人達の声援・応援、準備をしてくれた中高生のおかげでもあります。日詰コーチが着ている服にこんな言葉がありました。「お前は泣いているが、本当に泣きたいのこっちだよ」この服を見せながら日詰コーチは、「今は昔とは違う。昔みたいに怒ることが出来ない、でも監督やコーチが言っている言葉の意味を理解しなさい。野球は勝ち負けではない。野球に対する態度を変えなさい」と話してくれました。それから選手たちの練習に対する取り組みは変わりましたし、今回の優勝という結果にもつながりました。技術は上がっていますが、心の方はまだまだです。今年で卒団する4人の6年生にとってはこの経験はとても良いものになったことを願っています。

試合は全員が日詰コーチの教えの元、積極的な走塁、選手たちの積極的な打撃を心掛け、チームが一つとなって勝つことが出来ました。二年生のR君は打席に立ち、三振で終わった後涙を流していました。その悔し涙を忘れないで欲しいと思います。優勝という結果で私自身も報われた気持ちがあります。厳しい言葉を言ってきて良かった。選手たちを勝たせられて良かった。そういう弱い面もあります。指導者としてもまだまだです。これからも日詰コーチにご指導いただきたいと思えます。

最後に、日々、少年野球に顔を出してくれる保護者の皆様、並びに見守ってくださる地域の皆様、そして円福杯にご尽力いただいた全ての方に感謝を申し上げます。ありがとうございました。また来年度もよろしくお願ひします。

少年野球 円福杯

まごころホーム 橋本 雅



10月7日に、円福杯球技大会が行われました。当日、晴天の中開催することができました。

選手達は、ウォーミングアップやキャッチボール、フリーバッティングをして試合に臨みました。開会式が始まると、選手達の顔つきが変わり緊張した様子でした。キャプテンであるY君は、堂々と選手宣誓を務めてくれました。

1試合目は坂城ガッツと、2試合目は共和ファイターズと対戦しました。1点を取るために何とかバットに当て塁に出たり、先の塁に進もうと勇気を出して盗塁したり、1つずつアウトにしようとして丁寧にボールを取り、投げたりと一生懸命プレーしていました。また、それぞれが大きな声を出していたためチームの雰囲気がとても良かったと感じました。結果、優勝することができました。選手はとても輝いていました。練習してきたことを存分に発揮し素晴らしい試合でした。試合の中で一番印象的だった所は、決勝戦の最終回です。2アウト・ランナー3塁・7-6で勝っている場

(令和元年10月10日発行 月刊「円福」469号付録)

面でした。打たれてしまったら同点になってしまう緊迫とした試合でした。ピッチャーは必死で投げました。周りも声を出しピッチャーを盛り上げました。見事抑え勝ことができました。あの時の一体感はとても素晴らしかったです。辛いこと、苦しいこと、悔しいこと沢山あったと思いますが、みんなで乗り越えたからこそ素晴らしい結果をだすことができました。最高の試合でした。次の大会に向けてさらにレベルアップできるよう日々の練習に励んで欲しいです。

中高生の皆さんには率先して準備や片付け、グラウンド作り、審判や応援等して頂いたおかげでスムーズに行うことができました。みんなで作り上げた素晴らしい円福杯でした

あおぞらホーム日より

あおぞらホーム 石龍成己

今月は運動会の準備に向けて忙しい日々が続きました。9月から始めたマラソン練習も、途中から距離を伸ばし、本番に近い距離での練習を始めました。短い距離では差があった小学生の子たちも、中高生に負けずタイムを伸ばし、それを意識してか、中高生たちのタイムもグングン伸びていきました。当日は、番狂わせもあり、とても臨場感のあるレースとなりました。



マラソン練習以外にも、晩御飯後の時間を使って、応援合戦練習も頑張りました。特に中高生は定期テストがある中、限られた時間を集中して取り組むことができました。最高学年のM君は最前列で演技をするということもあり、気合十分でした。練習後職員に声をかけ、居残り練習に取り組みました。一人で大きな声を出す場面の声だしも頑張りました。他の子たちへの励みになっていったと思います。高校生になってからは、部活一筋で頑張っ降り、なかなか園の行事で一つになれることがなかったので、本当に今回は良い機会になったのかと思います。大学進学へ向け、毎月模試など忙しいとは思いますが、熱意を今度は勉強にぶつけられるようにあおぞらホームでも応援していきたいと思ひます。

とても忙しい月でしたが、今度は11月4日に愛育園祭があります。去年は70周年行事前ということもあり、今までに挑戦したことのないアトラクションを作ってみたり、盛大に行いました。去年をよりも盛り上がりやるためにも、園全体が一つになる必要があります。今回の運動会を通して、行事に対するみんな一丸に頑張ってくれたと思います。この熱い思いを今度は愛育園祭にぶつけられるように、職員として盛りたてていければと思います。10月のあおぞらホームもよろしくお願ひします。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

まごころホームだより

まごころホーム 田中沙季

二学期が始まり、9月は学校行事では文化祭や修学旅行などがあったり、園の行事では円福杯や愛育園大運動会など、イベントが盛りだくさんでした。子どもたちは、様々な準備に追われ忙しかったのだらうと思いますが、愛育園大運動会に向けて応援合戦の練習に取り組んだり、マラソン練習に取り組んだり、子どもたちは行事をとて楽しみにしているのだなあと改めて感じました。

行事の準備も一生懸命な子どもたちですが、アルバイトや部活動、勉強にも一生懸命に取り組んでいます。中学高校ともに中間テストがありましたが、テスト前には勉強の計画を立てその計画に沿って勉強に取り組んでいました。そんな子どもたちを見て本当にすごいなと思います。

暑さは多少落ち着き、朝晩は冷え込むようになってきました。寒暖差が激しく体調を崩しやすい時期ですが、体調に気を付け元気に過ごしてほしいです。

調理室だより

調理員 川澄保美

9月に入ると、秋の気配が色濃くなり朝・夕の風も涼しくなりました。

とても過ごしやすい季節になりました。

子供達も長い夏休みも終わり、少しずつ疲れも出てきました。

体調を崩す子も出てきて心配です。

スポーツの秋・食欲の秋です。

7日は円福野球大会が行われました。

その日は天気も良く。

暑い中一生懸命頑張る選手達。

応援にも力が入ります。

そして、、、優勝しました。

感動もひとしおでした。

おにぎり・豚汁での昼食、祝賀会と充実した一日になりました。

29日は愛育園大運動会。

紅組・白組に分かれての力の出し合い。

全員一丸となって頑張りました。

おにぎり・唐揚げ・キュウリの一本漬け・ウインナー・ゆで卵・トマトなどなど。

ひとつひとつ心を込めて作りました。

青空の中での食事は格別です。

(令和元年10月10日発行 月刊「円福」469号付録)

体は疲れましたが、心は十分に満たされました。

又ひとつ忘れられない良い思い出ができました。

